

第 **40** 期

トランスコスモス通信

2024/4/1 ▶▶▶ 2025/3/31

Global Digital Transformation Partner

トップメッセージ

株主・投資家の皆様には、
平素より格別のご支援を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに株主・投資家の皆様へのご挨拶と、
2025年3月期
(2024年4月1日～2025年3月31日)の
業績に関するご報告をいたします。



経営成績の概要について

当連結会計年度における我が国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、通商政策などアメリカの政策動向による影響や中国経済の先行き懸念、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループが展開するサービスを取り巻く環境は、進展するデジタル技術や長引く人手不足などを背景に、引き続き、デジタル技術を活用し、業務の効率化やコスト競争力の強化、売上拡大などに繋がるサービスに対する需要が拡大しています。

このような状況の中、当社グループは、お客様企業の経営、事業の変革を支援するCX(カスタマーエクスペリエンス)サービス・BPO

(ビジネスプロセスアウトソーシング)サービスを積極的に展開し、受注の拡大に繋がりました。また引き続き、「中期経営計画2023-2025」の実現に向けた各種取り組みを推進しました。

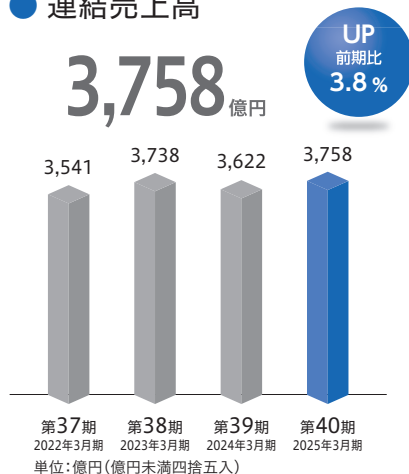
テクノロジーソリューションカンパニーの実現に向けた取り組み

テクノロジーソリューションカンパニーの実現に向けた取り組みでは、まずCXサービス領域において、競争優位な独自CXプラットフォーム「trans-DX for Support」の展開を推進し、導入社数は目標の100社を達成しました。また、生成AIをはじめとしたデジタル技術を活用したサービスの開発と展開に注力しました。具体的には、生成AIチャットボットと有人チャットをシームレスに繋ぐ独自開発したAIチャットボット「trans-AI Chat」の展開を韓国・日本・中国で開始しました。また、コンタクトセンター運用において生成AIを活用し、

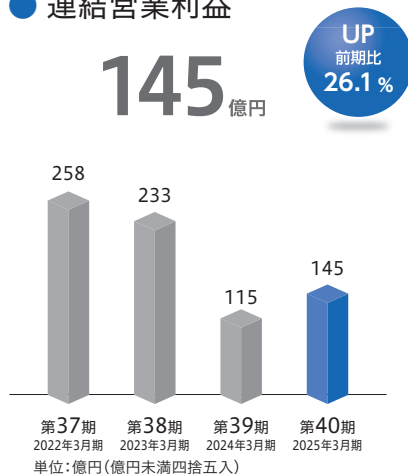
コンタクトセンター管理者とオペレーターの運用支援や品質強化の効率を大幅に向上させるソリューションを開発しました。全国のセンターへの導入を進め、業務工数削減と対応品質の均一化を実現していきます。

一方、BPOサービス領域では、AI-OCRと生成AIとオペレーションを組み合わせ、非定型帳票の効率的なテキスト化を実現する「trans-Xsynk(トランスクロスシンク)」の展開を推進しました。また、お客様企業とのJV(ジョイントベンチャー)を通じた専門性の強化や、デジタルBPOサービスを推進していくためのデリバリ体制の強化に向けた取り組みにも注力しました。具体的には、オムロン株式会社と当社が、オムロングループの間接業務の効率化を目的に、合併会社「オムロン トランスコスモス プロセスイノベーション株式会社」の設立について合意しました。新会社はシェアードサービスセンターとして、オムロングループにおける人事、経理財務、総務のオペレーション業務を集約し、当社の業務に特化した専門性やITの活用による自動化・効率化のノウハウを融合することで、更なる

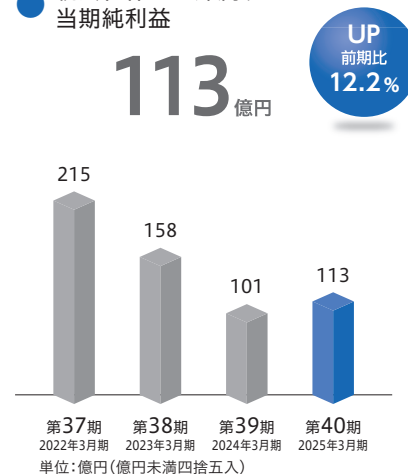
● 連結売上高



● 連結営業利益



● 親会社株主に帰属する 当期純利益



業務品質の向上や業務の最適化を推進します。また、デリバリ体制の強化では、北海道札幌市に、建設業界に特化したデジタル施策の企画から定着までを支援する新拠点として「BPOセンター札幌北八条」を開設しました。また、長崎スタジアムシティ内のオフィス棟に、BPO事業におけるDXのフラッグシップセンターとして「BPOセンター長崎スタジアムシティ」を開設しました。

グローバル事業の成長に向けた施策

グローバル事業の成長に向けた施策では、まず、アジアを中心としたグローバル市場において、世界トップクラスのマルチナショナル企業との取引拡大を推進し、複数の国と地域での受注拡大に繋がりました。また、グローバルでのサービスデリバリ体制の強化に向け、センター拠点の拡充を図りました。具体的には、中国、韓国、ベトナムに

においてそれぞれオペレーションセンターを増設しました。これにより、海外においては、現在、35の国と地域、112拠点(2025年3月現在)でサービスを提供できる体制が確立されており、今後もローカル企業のほか、現地に進出する多くのお客さま企業に対してCXサービスとBPOサービスを提供していきます。

株主の皆様へのメッセージ

当社は、これまで現行の配当に関する基本方針に基づき配当を実施してきましたが、今般、株主還元の姿勢をより明確にし、連結配当性向を実質的に従前を上回る水準に引き上げることで、株主の皆様への利益還元の更なる充実をはかっていきます。具体的には、2025年3月期の期末配当から、連結配当性向35%を基準として業績に応じた適正配当を行うことを基本方針とすることとしております。

この方針に基づき、当期の配当は1株当たり106円とさせていただきます。

また、「中期経営計画2023-2025」では2026年3月期までの目標として、売上高4,500億円以上、営業利益率6.0～8.0%を経営指標としておりましたが、中国経済の停滞による影響やコロナ禍後の企業の投資に対する慎重姿勢が続いたこと、想定以上に高騰した人件費やテクノロジーコストの価格改定が進行中であることなどにより目標達成が困難であると見込んでおります。なお、2026年3月期については、売上高4,000億円(前期比+6.4%)、営業利益155億円(同+7.1%)、営業利益率3.9%を見込んでおります。引き続き本中期経営計画での戦略施策を推進して増収増益基調を継続しながら、次の中期経営計画に向けた土台を固めてまいります。

今後とも、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業紹介

グローバルデジタルCXサービス

デジタルマーケティングサービス

アジア最大規模の3,000名体制で
WebプロモーションからWebサイト構築・運用・分析まで
トータルで支援

- アジア各国のオフショア拠点を含めオンサイト、ニアショア、受託を組み合わせで展開
- 年間600社を超える豊富な実績とノウハウをもとに多様な業種・業態に合わせた最適なサービスを提供
- アドテクノロジー・MAの活用、LINE・ソーシャルメディア向けサービス、CDPを活用した統合マーケティングなど最先端のサービスを展開

主なグループ企業



ECワンストップサービス

企業のEC事業戦略および
ブランド戦略に基づきEC事業に必要な
各種機能をワンストップで提供

- ECの成長市場を中心に46の国と地域で展開
- アジア・欧米の有力企業とのパートナーシップにより対象市場の文化や特性に合わせたEC事業展開を支援
- EC事業スキーム構築から運用までフルパッケージで支援

主なグループ企業



グローバルデジタルBPOサービス

ビジネスプロセスアウトソーシングサービス

End to Endでお客様企業の事業基盤を支えるサービスを幅広く展開
高い専門性を軸に、全産業に共通するBPOと業界特化型BPOを組み合わせ、
最新のデジタル技術を活用し、データ活用型で全体最適を実現

- 国内最大規模のオフショアサービス体制(アジア18拠点)と国内ニアショアセンターによる競争力の高いサービス体制
- 創業58年で培った豊富な実績とオペレーション・エクセレンスによる優れた品質
- 広範な産業に共通するIT・バックオフィスから、特定の業界に特化した設計・施工・生産業務まで、専門性の高いサービスを提供

主なグループ企業



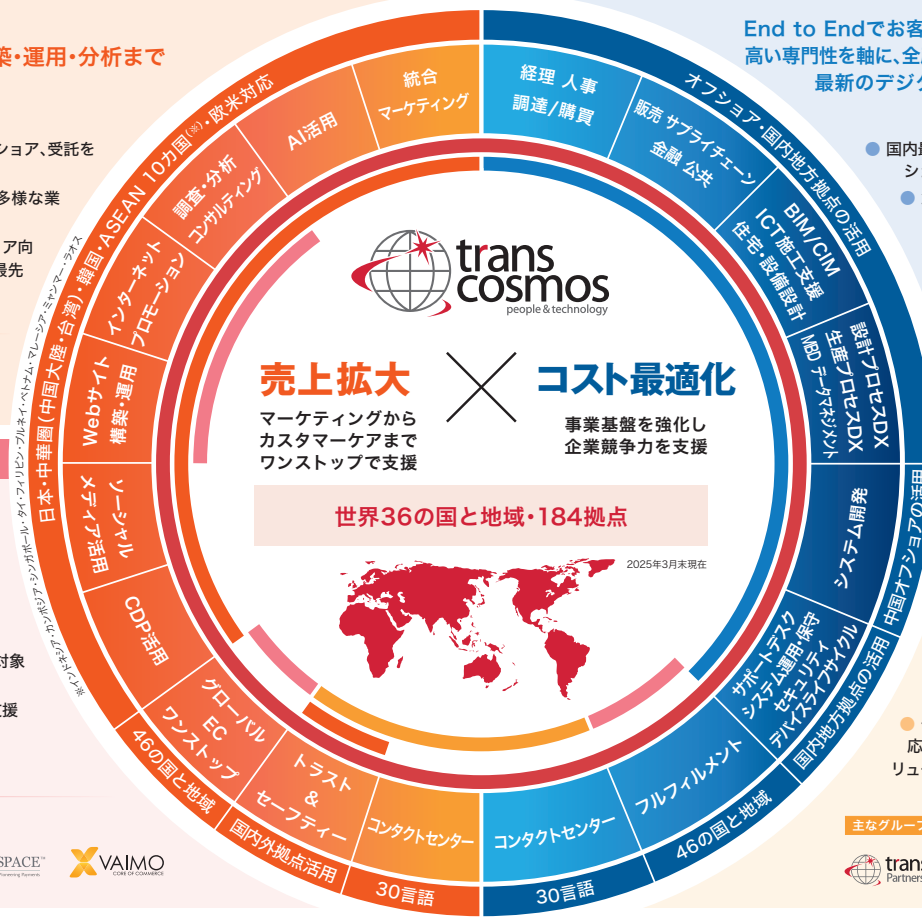
コンタクトセンターサービス

企業と顧客のコミュニケーションを最適化し
アジア最大規模のオペレーション体制で
顧客接点のデジタル化を実現

- 国内32拠点と海外45拠点(合計42,050席)
※協力会社・アソシエイト拠点含む
- コンタクトセンター市場No.1^(※1)ベンダーとして長年培ったセンターマネジメントや人材育成の仕組みによる優れた品質
- チャットや音声認識などのデジタル技術の活用、世界30言語対応、10,000人超の在宅センターなどCXを実現する多様なソリューションを展開

※1 出所:2023年度コールセンター売上高ランキング(通販新聞社刊)

主なグループ企業



下半期のトピックス

「オムロン トランスコスモス プロセスイノベーション株式会社※1」の 設立について合意

オムロン株式会社とトランスコスモス株式会社は、オムロングループの間接業務の効率化を目的に、合併会社「オムロン トランスコスモス プロセスイノベーション株式会社※1」（以下、「新会社」）の設立について合意しました。設立日は2025年7月1日を予定しており、同日より事業を開始する予定です。

新会社はシェアードサービスセンターとして、オムロングループにおける人事、経理財務、総務のオペレーション業務を集約し、トランスコスモスの業務に特化した専門性やITの活用による自動化・効率化のノウハウを融合することで、更なる業務品質の向上や業務の最適化を推進します。

※1 会社名は設立時に変更となる可能性があります

AIエージェントプラットフォームを 提供するvottia株式会社をモビルスと合併で設立

モビルス株式会社と、コンタクトセンター向けのAIエージェントプラットフォームを提供するvottia株式会社を合併で設立することで合意しました。vottiaではAIによる顧客体験の革新に取り組み、チャットを含む消費者と企業のコミュニケーション接点の変革を実現します。



BPO事業におけるDXのフラッグシップセンターとして設立した 「BPOセンター長崎スタジアムシティ」の開所式を開催

2024年10月14日にグランドオープンした長崎スタジアムシティ内のオフィス棟に、新たな拠点「BPOセンター長崎スタジアムシティ」を開設し、開所式を開催しました。今回開設した「BPOセンター長崎スタジアムシティ」は、長崎県内で4拠点目のセンターとなります。

当拠点は、BX（ビジネストラנסフォーメーション）推進に向けたDXのフラッグシップセンターとし、既存のサービスとBPaaS、データ活用、AIなどの各種デジタルツールを組み合わせたサービスモデルの構築や提供を行う拠点として設立しました。多様な人（People）と技術（Technology）をつなぎ、最大限のシナジーを生み出すことを目的としています。



職場におけるLGBTQ+に関する取り組みの評価指標 「PRIDE指標2024」にて最高位のゴールドを受賞

職場におけるLGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティへの取り組みの評価指標「PRIDE指標2024」にて最高位のゴールドを受賞しました。

「PRIDE指標」は、LGBTQ+など性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するためにwork with Prideが2016年に策定した日本で初めてとなるLGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標です。



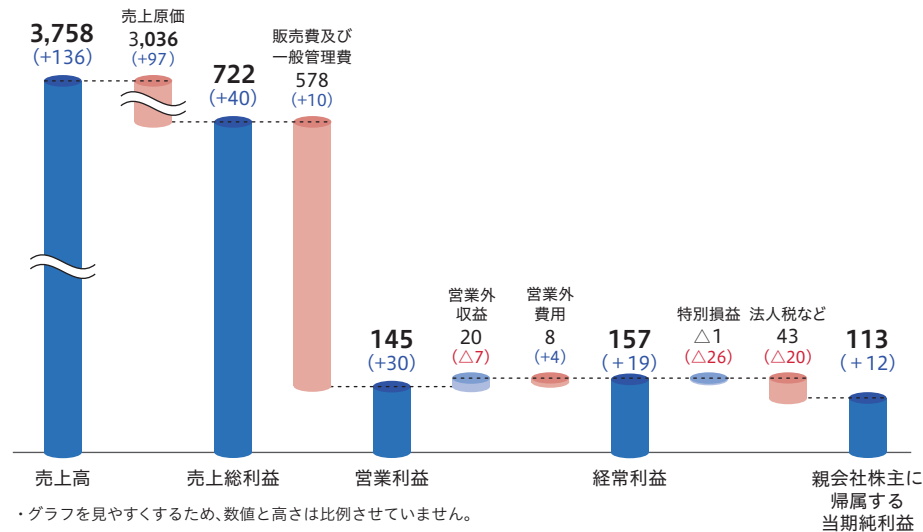
*LGBTQとはLesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー、性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人）、QueerやQuestioning（クイアやクエスチョニング）の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティ（性的少数者）を表す総称のひとつです。

連結財務情報

連結損益計算書の概要

単位：億円（億円未満四捨五入）

当連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）



売上高

売上高は、前期比3.8%の増収となりました。各セグメントの状況は、単体サービスでは、BPOサービスおよびCXサービスの売上が増加したことにより増収となりました。国内関係会社は、上場子会社の売上が増加したことにより増収となりました。海外関係会社は、韓国・東南アジア・中国の各子会社の売上増加や為替変動による影響などにより増収となりました。

営業利益

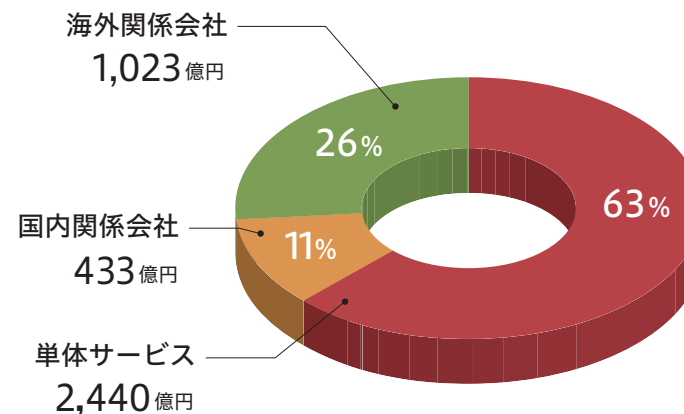
営業利益は、前期比26.1%の増益となりました。各セグメントの状況は、単体サービスでは、BPOサービスおよびCXサービスの収益性が改善したことにより増益となりました。国内関係会社は、一部上場子会社のグループ会社が黒字転換した影響などにより増益となりました。海外関係会社は、中国子会社のコスト適正化による収益性改善や、東南アジアおよび韓国の各子会社の利益増加により増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、営業外収益や特別利益の減少がありましたが、営業利益の増加や法人税等の減少により、前期比12.2%の増益となりました。

セグメント別売上高

当連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）



※セグメント間取引消去等△137億円は含みません。

単体サービス

当社が展開するアウトソーシング事業

国内関係会社

国内グループ会社が展開するアウトソーシング事業

海外関係会社

海外グループ会社が展開するアウトソーシング事業

会社・株式情報

会社概要 (2025年3月31日現在)

会社名	トランスコスモス株式会社 (transcosmos inc.)
(商号)	(トランス・コスモス株式会社)
設立年月日	1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	グループ: 70,653名 (国内: 43,612名、海外: 27,041名)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行
本社	〒170-6016 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 TEL. 050-1751-7700 (代表)
本店	〒150-0011 東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	43,863,116株
株主数	8,857名

大株主の状況 (2025年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人トランスコスモス財団	6,753	15.40
奥田 昌孝	6,404	14.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,439	7.84
平井 美穂子	1,463	3.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,410	3.22
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	1,082	2.47
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	899	2.05
CEPLUX- THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2	800	1.82
トランス・コスモス社員持株会	722	1.65
有限会社HM興産	722	1.65

注) 1. 上記の他、当社が自己株式 6,390千株を保有しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
3. 持株比率は、小数第三位を四捨五入により表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/Personal/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 https://www.trans-cosmos.co.jp

※ ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待制度の廃止について

当社は、株主還元の一環として、株主優待制度を実施しておりましたが、株主の皆様へのより公平な利益還元のある方という観点から検討を重ねました結果、株主優待制度については廃止し、今後は配当等による利益還元に集約することといたします。今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の向上に取り組んでまいりますので何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ニュースリリース: <https://www.trans-cosmos.co.jp/ir/news/pdf/ir250430.pdf>



<https://www.trans-cosmos.co.jp>



トランスコスモス通信は、ノーマライゼーション推進統括部(当社の障がい者雇用部門)がデザイン・制作をしています。

● ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっています。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっていますので、上記電話照会先にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店でお支払いいたします。